
シェアハウス

葉っぱ[°]

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シェアハウス

【Zコード】

N3055M

【作者名】

葉っぱ

【あらすじ】

東京に出てきて一年が経つ「ぼく」
人見知りな「ぼく」

建築学科の「ぼく」がシェアハウスに住むことをきめた

人との関わりをめんべくさがる「ぼく」が

人との関わり

自分の将来 建築

について考えていく話

はじめの一話

人が苦手だ。人と関わることはすぐ疲れ。友達が家に来たら、ひとりしてくれないかなあと思つたりもする。でも友達が帰つて、またひとりになると。誰かといかなあと思つたりする。だから始末が悪い。

東京に出てきて一年がたつた。初めの頃のワクワク感、ディズニアーランドでバイトするつていう夢、道を歩けば芸能人（マツコDXとか）にうつかり会うという勘違い、好きな建築を存分に勉強できるという期待も、氷が溶けるようになくなつてゆき、またもや何の変哲もない生活を送つている自分にビックリするのです。

今日は設計の授業。課題までの間、自分の考えた建築を、先生と話しあつて煮詰めていく授業。もちろん僕は出ません。何にもやつてないからです。大抵話し合いの授業の時は、敷地に設定された現場に足を運びます。

今回は井の頭公園にレストハウスを建てようという課題。公園の池をじつと見つめる。あたりはもう暗闇に包まれている。煙草に火をつける。水面に葉っぱが一枚、ひらり、ひたつ、と落ちた。そのままながれに身を任せ、水の上をするする滑つて行く。僕も水上をあんな風にするするしたいな、と思った。よし、水上にのりだした建築を作ろう。そう思つたところでバイトの時間が迫つていることに気付いた。そういうば今日はまだ誰ともしゃべつてないな、と思いながら公園を後にした。

家に戻るとアパートの僕の部屋の窓から、煙が立ち上つているのが見えた・・・。マジっすか。火事っすか。逃げ出したい気持ちが

僕の後ろ髪を引く。その手を振りほどいて入り口に走る。入り口に着く。ドアノブに、「キブリ」がくつづいてますい。ありえないやばいこわい。後ろに一步引く。落ちてた長い木の棒でGをペチペチ。安全を確認しやつとの思いで家に入ると、学校の友達一人が七輪で焼き肉をしていた。

「お帰り。今日は焼き肉だよ」

落ち着いた僕はゆっくり部屋を見渡す。まんえんする煙と臭い。一人ずつひつぱたいてから一言。
「換気扇だけつけてくれないか」

せじめの一話（後書き）

東京に出てきた建築学科大学三年です。
建築について、人間関係について、小説を書きながら考えていこう
と思っています。
できるだけすばすば更新できるようにしたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3055m/>

シェアハウス

2010年10月28日08時30分発行